

東大医学部整形外科教室では、病気の原因の解明や治療法の開発・評価を目的とした臨床研究を行っています。当科で現在実施している研究についてご紹介いたします。ご理解ご協力のほどをお願いできれば幸いです。

多施設後ろ向き研究「脊柱変形由来の胸郭不全症候群の実態調査とその診断・治療方針の検討」への協力のお願い。

目的：先天的に脊椎に変形(側弯症)を持って生まれる新生児は、脊柱変形が進行した場合、肺成長が阻害され呼吸器系疾患も合併し、生命予後にも影響するといわれています。欧米では2000年初頭より胸郭不全症候群という疾患概念が提唱され、新規治療法が開発されてきました。しかし診断基準や治療ガイドラインもないままに、治療は個々の医師の経験と判断にまかされています。本邦においてはその患者数など医療実態の調査は行われた事がなく、実態は不明です。

本研究はこれらを背景として、脊柱変形由来の胸郭不全症候群の実態調査とその診断・治療方針の確立を目指して全国で多施設研究として実施するもので、東京大学医学部整形外科も加わっています。

対象となる方：脊椎疾患の診断治療のため来院した外来ならびに入院患者さんで、肋骨癒合または/及び欠損を伴う先天性側弯症と診断された患者または高度側弯症のかたです。

方法：

カルテとレントゲンの調査を行います。あらたに検査等を行ったり、病院にお越しただいたりすることはありません。

実施場所：

東京大学医学部附属病院

個人情報・倫理的配慮について：

研究・発表に際し、個人情報の取り扱いには十分に配慮いたします。カルテは専用の閲覧室内で閲覧します。個人が特定されうる情報は用いません。本研究は倫理委員会の承認のもとで行われています。

連絡先：

文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部整形外科

03-3815-5411 (33376)

また研究参加への参加を希望なされない方は、以下の書式でFAXをお願いいたします。  
なお、不同意の場合でも、診療で不利益をこうむることはありません。

**FAX 送信先**

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学整形外科 竹下克志

TEL 03-3815-5411(33376) FAX03-3818-4082

多施設後ろ向き研究「脊柱変形由来の胸郭不全症候群の実態調査とその診断・治療方針の検討」への参加拒否申請書

私は、東京大学医学部整形外科・脊椎外科で実施される「脊柱変形由来の胸郭不全症候群の実態調査とその診断・治療方針の検討」に参加する事を希望しません。私の過去の診療情報を、上記研究には使用しないで下さい。

記入日 年 月 日

ふりがな

署名

連絡先住所

連絡先電話番号（携帯電話可）